

16- 4. 総合型選抜（多文化型）[1次～5次]

総合型選抜（多文化型）は、外国にルーツを持つ者を対象として行う選抜です。合格した場合には、入学金が免除となります。また、日本語能力試験N2以上取得者は、入学後の学習を支援するための、授業料減免制度をうけることができます。

(1) 募集学科・専攻

地域コミュニケーション学科

(2) 出願資格

次の①～③のすべての項目に該当し、入学後の学習目標を明確に持っている者です。

① 次のすべてに該当する者

- a 入国後の在留期間が通算で9年以内の者（令和8年3月31日時点）
- b 外国籍を有する者、もしくは日本国籍を取得して6年以内の者（令和8年3月31日時点）
- c 日本語能力試験N3以上を取得している者

② 次のいずれかに該当する者

- a 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和8年3月卒業見込みの者
- b 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和8年3月修了見込みの者
- c 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（例：高等学校卒業程度認定試験合格者）および令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- d 本学の個別の入学資格審査により、上記に該当すると認められた者（願書受付開始の1か月前までに鳥取短期大学 入試広報課へお問い合わせください）

③ 本学への進学を強く希望し、合格した場合必ず本学へ入学する者

(3) 出願手続（p. 6参照）

願書受付期間内に「インターネット出願登録」「受験料の払込」「出願書類の郵送」を行ってください。
インターネット出願についての詳細は、7月以降に本学ホームページに掲載します。

(4) 出願書類

出願書類一式	備 考
入学願書、写真票 （総合型選抜 用）	本学所定の用紙（インターネット出願サイトより印刷）
写真（2枚）	たて4cm×よこ3cm（入学願書・写真票に貼付してください）
調査書	出身高等学校で作成し厳封されたもの
エントリーシート	本学所定の用紙「総合型選抜（多文化型）エントリーシート」 （インターネット出願サイトより印刷）
外国人出入国記録（写し）	出入国在留管理庁から開示される書類 （生年月日以降から請求時まで記載されているもの）
国籍に関わる書類	【外国籍を有する者】 日本の市町村役場から発行される<u>住民票</u>（以下①～③のすべてを満たすもの） ①在留資格、在留期間、在留期間の満了日等の在留情報の記載があるもの ②国籍・地域の記載があるもの ③マイナンバー（個人番号）を省略したもの 【日本国籍を取得して6年以内の者】 日本国籍を取得して6年以内であることが記載されている、日本の市町村役場から発行されている<u>戸籍謄本</u>もしくは<u>戸籍抄本</u>
日本語能力試験合格証明書 （写し）	日本語能力試験N3以上

※この他に証明書類の提出を求める場合があります。

(5)受験料 25,000円

(6)試験日程

日程	願書受付期間	面談日	面談会場	面談結果通知	合格発表	入学手続締切日
1次	9月1日(月)～ 9月5日(金)	9月14日(日)	本学	9月28日(日)	11月2日(日)	11月14日(金) 17時必着
2次	9月17日(水)～ 9月25日(木)	10月5日(日)			11月2日(日)	11月14日(金) 17時必着
3次	11月20日(木)～ 11月27日(木)	12月7日(日)			12月14日(日)	12月25日(木) 17時必着
4次	1月28日(水)～ 2月6日(金)	2月15日(日)			2月22日(日)	3月6日(金) 17時必着
5次	2月24日(火)～ 3月2日(月)	3月8日(日)			3月14日(土)	3月23日(月) 17時必着

(7)選抜方法

書類審査・面談の結果を多面的・総合的に判定します。

(8)総合型選抜（多文化型）合格者の特典

①入学金免除

合格者全員の入学金（24万円）を免除します。

②授業料減免制度

入学時点で日本語能力試験N2以上を取得している者に対し、1年次4月の授業料（35万円）と2年次10月の授業料（34万円）を減免します。

なお、入学後1年次に日本語能力試験N2以上を取得した場合、2年次10月の授業料（34万円）を減免します。

(9)入学前教育について

総合型選抜（多文化型）手続者には、入学後の学習につなげるため、本学が課す入学前教育を実施します。

総合型選抜（多文化型）の方針

目的

外国にルーツを持つ生徒に対し、高等教育への均等な機会を確保するとともに、多様化が進展する地域社会に貢献できる人材の育成を目的とする。

評価する能力

日本語の読解力、聴解力（日本語能力試験 N3 以上）に加え、アドミッション・ポリシーに基づき、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」をエントリーシート、調査書、面談（口頭試問を含む）を通じて多面的・総合的に評価する。

期待する成果・効果及び実施する合理的な理由

外国にルーツを持つ生徒の大学・短期大学への進学率は、言語的・文化的背景や経済的要因など様々な理由から、日本人生徒と比較して相対的に低い傾向にある。そこで、総合型選抜（多文化型）を実施することで高等教育への進学機会を積極的に提供し、機会均等をはかるとともに、地域に貢献できる多様な人材の育成に資することができる。入学後は、言語・文化・交流に関する学びを通じてコミュニケーション力を高め、多文化共生の視点をもって地域に貢献する態度を養うことが期待できる。